

【総括】 第3期アクションプランの10の項目のうち、保険料収納率（現年分）やジェネリック医薬品使用割合等、5つの項目で目標値を達成することができた。一方、目標値に未達であった5項目の内、特定健診と特定保健指導については新型コロナウイルス感染症の影響もあり伸び悩んだ。

指標ごとの状況（歳入の確保）

指標	第2期アクションプラン		第3期アクションプラン				R1目標達成状況	R1の評価	
	H29	H30	R1	R2	R3				
口座振替加入率（%） （※1）	目標	60.0	56.3	57.5	58.8	60.0	○	<p>【取組み内容及び目標値に対する評価】</p> <p>健康保険課徴収対策班（平成31年4月に設置）において、納付相談時にその場で口座登録できるペイジー口座振替受付サービス（以下「ペイジー」）を活用した口座振替勧奨を徹底した。また、各区役所窓口においても、国保加入手続きの際等にペイジーを活用した口座振替勧奨を前年度から引き続き実施した結果、申込件数が増加した。（ペイジー申込件数 H30：6,491件、R1：7,237件）</p> <p>Webから口座登録ができるWeb口座振替受付サービス（平成29年1月から導入）について、当初決定通知書等にチラシを同封したことや各種通知書の封筒等にWeb口座振替の周知文を記載し普及啓発に努めた結果、申込件数が増加した。（Web口座振替申込件数 H30：367件 → R1：540件）</p> <p>その結果、本年度の目標を達成することができた。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>上記取り組みを引き続き徹底するとともに、口座振替加入率の低い低年齢層や外国人世帯に対して、郵送による口座振替勧奨を行う予定。</p>	
	実績	56.9	56.8	57.5					
電話催告延べ件数（件） （※2）	目標	— （※3）	71,000	76,000	81,000	86,000	×	<p>【取組み内容及び目標値に対する評価】</p> <p>徴収対策についてはH31.4以降は健康保険課徴収対策班で実施しているため、区役所では電話催告は行っていない。</p> <p>市税等納付推進センターでは滞納世帯数の減少に伴い、架電件数が減少しており、目標を下回った。また、電話が繋がる事例は減少傾向にあり、電話以外の方法（SMS）での連絡手法も実施している。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>今後は分納不履行世帯も架電対象とするよう検討する。</p>	
	実績	55,986	55,998	45,138					
滞納処分における差押金額（千円）	目標	— （※3）	175,000	185,500	196,600	208,400	○	<p>【取組み内容及び目標値に対する評価】</p> <p>令和元年度に健康保険課に徴収対策班を設置し滞納整理を推進するとともに、債権管理課、健康保険課による差押の徹底により、目標を達成した。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>引き続き、財産を発見した滞納者については、差押を実施する。</p>	
	実績	191,210	242,675	545,743					
所得無申告世帯数（世帯）	目標	— （※3）	7,644	7,107	6,587	6,096	○	<p>【取組み内容及び目標値に対する評価】</p> <p>平成31年2月（平成30年度）に令和元年度賦課のための所得申告勧奨文書を発送、令和元年7月に所得申告書を同封した申告勧奨文書発送、令和元年9月には申告勧奨をしてもなお無申告の者に対する納付推進センターからの電話による申告勧奨を行った。</p> <p>その結果、目標を達成した。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>引き続き、各種手続きの際に所得申告状況を確認し、無申告者への申告勧奨を行う。</p>	
	実績	7,594	6,614	6,422					
収納率（%）	現年分	目標	91.2	90.5	92.3	92.8	93.3	○	<p>【取組み内容及び目標値に対する評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現年分・・・ 例年行っている現年度のみ滞納者への納付書付文書催告のほか、令和元年度新規取組である「督促から1月経過した滞納者への催告書の送付」やSMS（ショートメッセージサービス）を使用した催告を実施及び差押の強化により、令和元年度収納率は92.3%となり、前年度より0.8%上昇し目標を達成した。</li> <li>・滞納繰越分・・・ 滞納繰越分のみ滞納している滞納者に特化した一斉催告書の送付や差押を実施したが、現年度滞納者に対する徴収対策を強化した結果、20.0%となり、前年度より2.3%低下し目標を達成できなかった。</li> <li>・全体・・・ 全体については、上記取組み等を実施したことから79.2%となり、前年度より1.7%上昇した。</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <p>更なる滞納繰越額の削減、収納率向上のため、滞納整理を推進していく。具体的には口座振替の推進や所得未申告者数の削減のほか、適正な滞納整理やSMSを使用した催告等を実施していく。</p>
		実績	90.8	91.5	92.3				
	滞納繰越分	目標	21.1	20.1	20.6	21.1	21.6	×	
		実績	20.3	22.3	20.0				
	全体（参考）	目標	78.8	76.2	78.7	79.2	79.8	○	
		実績	76.8	77.5	79.2				

達成状況 ○：目標達成 □：目標達成したが、前年度と比べ悪化 △：目標未達だが、前年度と比べ改善 ×：目標未達

※1 特別徴収分は総数（分母）から除く ※2 令和元年度からの徴収業務一元化に伴い、区役所と納付推進センターの合計で評価 ※3 第3期アクションプランからの指標のため目標値なし

次頁へ続く

指標ごとの状況（歳出の抑制）

	指標	第2期アクションプラン		第3期アクションプラン			R1目標達成状況	R1の評価	
		H29	H30	R1	R2	R3			
歳出の抑制	医薬品全体に占めるジェネリック医薬品数の割合（%） （※4）	目標	70.0	73.5	77.0	80.0	81.0	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知発送、ジェネリック医薬品希望シールの配布、ポスターの配布等により普及啓発を実施した結果、実績値は目標値を上回った。 【今後の予定】 差額通知を送るにあたり、東大との共同研究により通知書の文面を変更したことについて効果分析を行い、より効果を高める方法を検討予定。（令和元年9月・12月・令和2年3月・6月の計4回発送、各回において2区に試行した）
		実績	72.5	76.9	79.5				
	第三者行為に係る求償委託件数（件）	目標	— （※3）	245	255	260	265	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 レセプトの傷病名や特記事項から、第三者行為による事故等が疑われるものを抽出して全件チェックし、負傷原因調査を経て国保連合会への委託につなげた。令和2年1月から、負傷原因調査の未回答者に対し回答の催促を行うなど、新たな取組を行っている。しかしながら、国保連への求償委託件数の目標件数は達成できていない。実績と目標件数とは開きがあるものの、交通事故等が増加していくとは考えにくいいため、今後も実績は横ばいが続くと思われる。 【今後の予定】 第三者行為に係る負傷と判明後、届出に時間を要している案件が多いため、経過を追いながら届出に繋がるように被保険者や保険会社へ働きかけを強化していく。
		実績	243	190	188				
特定健康診査受診率（%）	目標	45.0	39.5	41.0	42.5	44.0	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 未受診者勧奨は、企画提案方式にて、受診勧奨と健診結果通知を同一事業者にて委託し、年間を通して効率的な勧奨とした。対象を健診未経験・不定期受診・連続受診者の区分に分けて通知（175,492人）、SMSを活用して勧奨した（2,005人）。また、健診結果の通知は、H28～30年度の不定期受診者のうちH30年度に受診した23,315人に送付した。勧奨時期を早めるも、新型コロナウイルス感染症の影響が最終月の受診者は減少し、受診率は減少傾向であり目標を下回る見込みである。 【今後の予定】 国保連合会の特定健診受診率向上支援事業を活用し、通知による受診勧奨と電話勧奨を実施する。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、勧奨通知の発送時期を考慮し、受診勧奨を実施する。また、次年度に特定健診の対象となる39歳の方を対象に、勧奨通知を送付する。	
	実績	39.9	39.5	37.5 （※5）					
特定保健指導実施率（%）	目標	35.0	16.5	18.0	19.5	21.0	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 特定保健指導の実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少傾向である。対象者には、通知後、架電による利用勧奨を実施、初回訪問後は、電話や手紙、アプリを活用した指導を実施するなど、対象者の利便性が向上した。また、令和元年度からは、専門職が利用勧奨と保健指導を一体的に行うこととし、動機づけ支援の民間事業者への委託を拡充した。実施率は、前年度同月比よりも上昇（R1.6時点：9.6% R2.6時点：9.7%）しているが、目標値には達していない。 【今後の予定】 特定保健指導の実施率の向上のため、医療機関への研修等の機会を通じて、民間事業者への委託について周知を強化する。	
	実績	14.7	13.0	9.7 （※5）					

達成状況 ○：目標達成 □：目標達成したが、前年度と比べ悪化 △：目標未達だが、前年度と比べ改善 ×：目標未達

※1 特別徴収分は総数（分母）から除く ※2 令和元年度からの徴収業務一元化に伴い、区役所と納付推進センターの合計で評価 ※3 第3期アクションプランからの指標のため目標値なし

※4 『後発医薬品／（後発医薬品のある先発医薬品＋後発医薬品）』の数量シェア ※5 R2.6月末時点の数値 確定は10月頃